

# 平成27年度 島根県教育センター浜田教育センター教育研究発表会のご案内

野に山に樹々の緑が濃くなってまいりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当島根県教育センター浜田教育センターでは平成26年度研究事業の内容について、標記の会を下記のとおり開催することにいたしました。多くの教職員の皆様にご参加いただき、これらの研究成果を教育実践の参考にしていただくとともに、私たちの研究等についてご意見とご感想を賜ることができれば幸いに存じます。

講演は、「子どもの死の認識の発達」と「自尊感情を育む教育プログラム」を研究テーマとして最先端の研究を進めていらっしゃる 山陽学園大学（総合人間学部 学部長）生活心理学科 教授 近藤 卓 先生にお願いしました。また、ICT体験・展示コーナーや島根県教育センター研究発表の時間も設けており、例年以上に充実した内容になっております。

何かとご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご来場くださいますようご案内申し上げます。

島根県教育センター浜田教育センター長 春日 仁史

## 記

- 1 期 日 平成27年5月16日(土)  
 2 会 場 島根県教育センター浜田教育センター(浜田市長沢町1550-1) 3階 講堂 他  
 3 日 程 受付(9:00~9:30) 開会式(9:30~9:40) 発表(9:45~13:50) 講演(14:00~16:00) 閉会式(16:00~16:10)

## 4 発表

発表順	発表時間	研究・研修主題	発表者	内 容
1	9:45 ~ 10:10	学級におけるリレーションを深めるための手立てを探る ~一人一人がつながり合うために~	平成26年度島根県教育センター浜田教育センター 教育相談・生徒指導長期研修員 浜田市立金城中学校 教諭 永見 光子	人間関係に起因する学校現場の課題の中で、中学一年時に着目し、個々の生徒に「自尊感情」を育むことが、学級のリレーションを形成し、生徒のこころの居場所をつくることになると考えた。そのための手立てとして、生徒の自尊感情を育み、生徒同士がつながり合うための共有体験の在り方を探った。
2	10:10 ~ 10:35	プレイフルな学び手の育成をめざして ~心のはたらきを高める学習環境デザイン~	平成26年度島根県教育センター浜田教育センター 教育相談・生徒指導長期研修員 益田高等学校 教諭 山崎 秀雄	「学びの力によって子どもたちの心の課題にアプローチすること」をめざし、「プレイフル(本気で楽しむ)・ラーニング」をキーワードに、学力とともに心のはたらきを高める学習環境デザインの在り方を探った。
3	10:35 ~ 11:00	すべての生徒が安心して学べるための確かな「子ども理解」 ~中学校における実践を通して~	平成26年度島根県教育センター浜田教育センター 特別支援教育研修生 石見養護学校 教諭 石川 雅美	心身ともに変化が大きく、心の不安定さも続く中学生という時期だからこそ、そばにいる大人たちのかかわりが大切になってくると考える。中学校における実践を通して、確かな「子ども理解」のための実態把握や支援の在り方を探った。
休息 (11:00~11:10)				
4	11:10 ~ 11:35	論理的思考力・表現力を育てる中学校国語科学習指導の工夫 ~意見文作成過程における「論理・構成・表現の型」の提示と交流~	平成26年度島根県教育センター 学力の向上(国語)長期研修員 出雲市立平田中学校 教諭 玉木 陽子	論理的思考力・表現力を育てるため、「書くこと」領域の意見文作成過程における「論理・構成・表現の型」の提示と「書く過程における交流」を取り入れた学習指導を授業実践・検討した。
5	11:35 ~ 12:00	島根県のキャリア教育推進に関する一研究 ~RPDCAサイクルですすめるキャリア教育~	島根県教育センター 浜田教育センター 教育相談スタッフ 指導主事 小寺 博喜	島根県内教職員と児童生徒の実態をもとに、本県におけるキャリア教育推進の在り方について探る。RPDCAサイクルを機能させるために、評価の在り方を中心に作成したリーフレットを活用した推進について提案する。
昼食・休憩 (12:00~13:00)				
6	13:00 ~ 13:25	授業改善に向けた教育センターの支援の在り方 ~主体的・効果的な授業改善に向けた自己省察・共同省察の在り方~	島根県教育センター 企画・研修スタッフ 指導主事 高橋 隆子 仙田 浩志	共同省察の現場の実態を、アンケート、現場の研究協議から把握したほか、「授業づくりの研修ハンドブック」の活用状況調査、さらに管理職の授業観察についての演習・協議を行い、問題意識を喚起した。
7	13:25 ~ 13:50	「教育の情報化」推進のための取組 ~情報モラル教育校内研修パックの作成を通して~	島根県教育センター 研究・情報スタッフ情報セクション 指導主事 周藤 紀之	教育の情報化の推進を目指し、県内の高校の情報モラル教育に関するアンケート実施、情報モラル教育実践校や県外先進事例の聞き取り等を行うことによって、情報モラル教育推進のための手掛かりを探った。

- 5 講演 演題 「自尊感情を視点とした子ども理解」  
 講師 近藤 卓 先生 (山陽学園大学 総合人間学部 学部長 生活心理学科 教授)

### 講師のプロフィール

山陽学園大学 総合人間学部 学部長、生活心理学科 教授、日本いのちの教育学会 会長、日本学校メンタルヘルス学会 理事、日本学校保健学会 理事、日本健康教育学会 評議員。  
 研究テーマは、「子どもの死の認識の発達」「自尊感情を育む教育プログラム」について。  
 著書は『子どもの自尊感情をどう育てるか そばセット(SOBA-SET)で自尊感情を測る』『基本的自尊感情を育むいのちの教育』『二十歳までに考えておきたい12のこと』『PTG心的外傷後成長』『自尊感情と共有体験の心理学』『死んだ金魚をトイレに流すな』『いのちの教育の理論と実践』『いのちの大切さがわかる子に』『パーソナリティと心理学』『いのちの教育』他多数。また、高等学校と中学校の『保健体育』の教科書(大修館書店)で、心理学分野の執筆を担当。

- 6 展示 12:00~15:00(第1研修室)  
 島根県教育センター2015 ICT体験・展示会 ~授業に役立つICT機器・デジタルコンテンツを体験してみませんか~

## 7 その他

- (1) 参加申込み及び参加費等は不要です。  
 (2) 昼食を注文することができます。(受付時間9:00~9:30)  
 (3) 本発表会の参加をもって、初任者研修の校外自主研修(「エ 研修会・研究会を通しての研修」とすることが可能です。

### 問い合わせ先

〒697-0023 浜田市長沢町1550-1 島根県教育センター浜田教育センター 教育相談スタッフ 佐田 良二  
 TEL(0855)23-6782 E-mailアドレス:sada-ryoji@edu.pref.shimane.jp